

臨時役員会議事要録

方 式 ：メール審議（フォーム回答）

期 間 ：9月9日～9月12日

構成員 ：部会長校、各地区協議会理事校、監事校（次期部会長校）

全構成員の回答をもって、会則第31条2項の要件を満たし会は成立した。

1. 報告事項

以下事項について、部会長校から報告があり承認された。

1.1 2027-2028 年度西地区部会長校予定校推薦について

総会確認事項を踏まえ 7/19 に大阪商業大学を訪問し、業務説明の上依頼状を送付した。

1.2 2025-2026 年度研究助成委員および会報担当校について

1.2.1 研究助成委員

選出校は京都地区協議会理事校からの内諾を受けて、会長校に通知した。

先日の東西合同役員会において紹介し、宮杉氏のお名前とともに承認された。

1.2.2 会報担当校

京都地区協議会理事校のお骨折りで、次期理事校である京都先端科学大学に内諾をいただき、7/19 に京都外国語大学において業務説明を行った。

現会長校には報告済み。なお、直近の偶数号会報に掲載する2024年度部会研究会掲載原稿は、発表者に依頼し、うち1名は8月末で職を離れるため、8月末までに推敲済みの完成原稿をいただいた（添付）。謝礼支払いは早々に執行する。原稿は次期部会長を通じて次期会報担当校に送付することになる。

1.3 部会長校活動について

1.3.1 協会国際図書館協力委員会（部会長校当て職委員会）関係校・関連企業と懇談：

国際図書館協力委員（慶応大学：9/5、関西大学 9/9）、

丸善雄松堂、図書館総合展委運営委員長（9/10）

1.3.2 次期会長校との打ち合わせ

2025-2026 に中部大学が西地区部会監事校及び国際図書館協力委員会委員長選出校となるため、業務打ち合わせ（9/9）：次期会長校（関西学院大学）

1.4 部会研究会当番校について

愛知産業大学様に部会長からの委嘱依頼状を送付する予定である。

2. 審議事項

2.1 私図協西地区部会における「部会活動費」執行ガイドラインについて

2023 年度第 1 回役員会及び部会総会で承認された予算の見直し（部会活動費の増額）について、部会長校から提案のあった執行ガイドラインを承認した。なお、このガイドラインは試行とし、2024 年度の実績を踏まえ改定が可能であること。また、施行は 2024 年 4 月 1 日に遡及することで承認された。

2.2 2025 年度総会・西地区部会研究会（案）について

部会長校から提案のあった以下事項について承認された。

2.2.1 総会

例年通り決算および監査が終了し、部会及び各地区協議会の 3 月末までの会務報告がまとまる 6 月に資料 HP 掲載、フォーム回答で開催。

2.2.2 部会研究会

協会総会記載のとおり、次期開催当番地区の東海地区協議会を中心に部会総会と日程を切り離して秋に開催で打ち合わせを進めている。まとまり次第 3 月臨時役員会までに研究会運営委員会として、次期部会長校に事前説明の了承をいただき、年度明けに新構成員で研究会運営委員会を開催し、募集要項などを詰める。

2.3 「西地区部会スリム化検討委員会 2024」(案) について

昨年と同様の構成員（役員会メンバー）に次期部会長校も加わり、下記要領で委員会を開催する。

方式：Zoom 会議（主催：部会長校）

期日：10 月に開催（開催日の調整（調整さん）：別途送付）

目標：2023 年度からの会務・事業スリム化（整理）の成果をまとめ、各地区における課題を整理し、役員任期期間での実現・達成可能なアイデアをまとめる。

議事：構成員の確認

会務・事業スリム化（整理）の課題解決について。

事前アンケート：会務・事業スリム化（整理）の成果および提言（アイデア）

2.4 第 2 回役員会の開催方法及び日程について（案）

臨時役員会：2025 年 3 月 3 日（月）13：30-

* 方式：部会長校における対面、遠隔ハイブリッド開催

* 構成員：現役員、次期部会長校

* 議事：第 2 回役員会議事調整（終了後メール審議 3/3-3/5）

2023-2024 年度部会活動の振り返り（スリム化問題含む）

第 2 回役員会：2025 年 3 月 7 日（金）10-：00（遠隔開催）

* 議事：決算政策（繰越金の扱い）、研究会の実施要項、その他

* 本議事録は構成員に回付し 2024/9/18 に確定した。